

## 平成 30 年度 沖縄修学旅行 2 日目

### 【2 日目の行程】～平和学習～

< 1・2号車 > ひめゆりビデオ講和 / ひめゆり平和記念資料館 → ひめゆり会館 (昼食) → 糸数壕 → 平和の礎・平和記念資料館 → リザンシーパーク谷茶ベイ (恩納村)

< 3号車 > 糸数壕 → ひめゆり会館 (昼食) → ひめゆりビデオ講和 / ひめゆり平和記念資料館 → 平和の礎・平和記念資料館 → リザンシーパーク谷茶ベイ (恩納村)

< 4・5号車 > 平和の礎・平和記念資料館 → ひめゆり会館 (昼食) → ひめゆりビデオ講和 / ひめゆり平和記念資料館 → 糸数壕 → リザンシーパーク谷茶ベイ (恩納村)

沖縄修学旅行 2 日目は「平和学習」を 1 つのテーマとして、ひめゆりの塔・ひめゆり平和記念資料館・糸数壕・平和の礎<sup>いしじ</sup>・平和記念資料館に向かいました。平和の礎では、代表生徒による平和宣言を行い、平和に対する思いを深く感じとる 1 日となりました。

#### ひめゆり平和記念資料館



ひめゆりの塔の前で黙祷し、ひめゆり証言ビデオを観て、学芸員の方からお話をしていただきました。その後、ひめゆり平和祈念資料館を見学しました。



## 糸数壕



壕の中で、懐中電灯の明かりを消して、当時の追体験をしました。

## 平和の礎・平和記念資料館



平和の誓いを行い、2学年生徒全員で折った千羽鶴を贈りました。

## 平和の誓い

今から74年前、美しかったこの島は焦土と化し、碧空は煙で見えなくなり、水平線の彼方まで広がる海は軍艦が跋扈し、緑の島は赤く染まりました。沖縄戦の被害者は民間人やアメリカ軍を含め、20万人以上にもなったといえます。

私たちには、今を生きる若者として、そして日本人として、この出来事を後世に伝える義務があります。沖縄戦で亡くなった方々の平和を希望する思いを受け止めなければなりません。沖縄戦を「遠い昔の話」にしてはなりません。かつての沖縄の人々が見ることの叶わなかった平和な世の中を、今度は私たちが命を賭してつくらなければなりません。

今の沖縄にも、米軍基地などの問題が残っています。今の私にはその問題の最善の解決策はわかりませんが、一刻も早く全ての人が平和に、平等に暮らせる社会を築き上げる為の努力を惜しまないことをここに誓います。

平成31年3月3日 東洋高校2年 Iさん

ここ沖縄で地上戦が行われてから74年が経ちました。しかし、今現在でもアメリカ軍の基地問題や戦争を目の当たりにしてきた人々の苦しみは残っています。戦争は人の未来をつぶし、人から幸せを奪いとります。戦争する以外にも問題を解決する方法はある——私はそう信じています。

現代の世界に目を向けてみると、今この瞬間にも紛争によって命を落とす人がいたり、それによって大切な人を失った悲しみに苦しむ人がたくさんいます。私たちはみな、幸せになるために生きています。現状が人間のゴールではないのです。

沖縄戦によって犠牲になられた全ての御霊に心から追悼の意をささげるとともに、世界に戦争のない幸せな日々を築き上げるために、全力で取り組んでいくことをここに誓います。

平成31年3月3日 東洋高校2年 Yさん

188136人。沖縄戦によって、当時の島人口のうち、約5分の1もの人々が命を落としました。鉄血勤皇隊やひめゆり学徒隊として、私たちと同じくらいの男の子や女の子も戦場に送られたり、患者の手当てにあたったと聞いています。三食ご飯を食べたり、学校で授業を受けたり、普通の生活でさえ難しかった当時を、私たちは経験したことがありません。また、教科書で知る歴史的事実以上に詳しいことを、当時の人々が本当は何を考え、想っていたのか、知ることもできません。しかし、この平和記念公園を歩いて、戦没者の方々が残したもののから、それに近づくことはできません。

私は、沖縄戦について調べて当時の状況を知り、尊い命が人の手に奪われることについて考えました。人間だから、ヒトはいつか死ぬ。自然災害や病気、事故……。という理由はあるかもしれない。でも、人がヒトの命を奪う。それはあってはならないと思う。

生きて、やりたいこと、行きたいところがたくさんあるから。叶えたい夢があるから。大好きな人に出会えたから。両親が育ててくれたから。

問題を解決するために戦争をしたら、失うもののほうがずっと多い問題を解決するために人がヒトを傷つけ、苦しめ、悲しませる。そんなこと絶対あってはなりません。戦争についての理解を深め、次の世代に伝え、平和を守っていくこと。それはこの時代に生まれた私たちが唯一できることです。時代は常に、その時代に生きる人々が築きます。だから、沖縄戦を経験した人々の想いや歴史を無駄にすることなく生かして、戦争のない日本というバトンを後世につなぐことをここに約束します。

平成31年3月3日 東洋高校2年 Hさん

資料館や証言ビデオから当時の様子を知ることができ、今の私たちの平和な生活があることを深く実感することができました。戦争の恐ろしさを学び、戦争のない世界を守っていくことが、自分達高校生の役目であり、後世に引き継いでいかなければいけないと強く感じました。